

「勉強」

について

考える

学校の「勉強」と
社会に出てからの「勉強」では違いがあるの
だろうか？
もし違うのであれば何が違うのだろうか？

問い 哲学的思考から

「勉強とは何か？」（根本編）

個人ワーク

- 1 自分がイメージする「勉強」について、自分なりに表現してください。
- 2 次にあげた「足場のづくりの問い」を参考にして、「勉強」について多方面から迫ってください。

	足場づくり問い
経験	「これが勉強だ」と実感した体験
部分	「勉強」を構成する要素を挙げる
類	「勉強」に似た言葉、別の言葉には何があるか
種差	似た言葉と勉強とは何が違うか ○○は勉強か
定義	辞書的に「勉強」の定義は何か
語源	「勉強」の語源は
国・文化	他国、他地域で「勉強」の語源や捉え方は
相反・極端	「勉強」の反対は 最高の「勉強」とは

「学校での勉強」について

私たちは、授業で先生の説明をなんとなく受身で聞いて育ってきました。いわゆる「説明」の方はいいかげんに聞いて、「要するにどうしたらいいか」ということだけを熱心に聞き、あとは練習問題や応用問題をたくさんこなして、一応「あのテの問題はこうやれば解ける」というカンがついたところで満足して、次へ進んできたのではないのでしょうか？

「出典「わかる」ということの意味 佐伯 胖

問い 哲学的思考から

「勉強とは何か？」（親バージョン）

将来あなたのお子さんが、次のように聞いてきました。あなたはどうか答えますか？
「クラスでトップ校にいけるのはせいぜい4~5人。このまま僕が勉強してもトップ校には行けない。そこそこの普通の高校に行くために勉強して何か意味があるの？」

問いのデザイン 安齋勇樹 塩瀬隆之

「勉強とは？」振り返り

学歴	学歴 大学や社会に行くため 遊ぶため
選択肢	将来の選択肢や可能性を増やすため
知識	知識を増やし活用するため
思考力	自分で考えることが可能になるため
生きる	生きる目的を見つける、騙されないため
精神力	やりたくないこと、忍耐力をつける
将来	恥ずかしくない常識つける 社会の評価

**学ぶものが決められているの
が学校の勉強**

**学ぶものを自分で決められる
のが社会の勉強**

自分の好きなことを学ぶこと。

嫌々やることは作業だと思おう。

勉強とは

世界を平和にするための第一歩

「学問というのは人間を驕り高ぶらせものじゃなくて自分の小ささを知るためにある」自分にとっては学ぶことが全てと言いたくなるほど大きな存在なので勉強について考えると終わりがなくて今の私では未熟すぎて自分の考えを上手く言葉に出来ません。だけどこの言葉を知った時に初めて自分の考えと一致しているような感覚になりました。



数学を
学ぶんだ

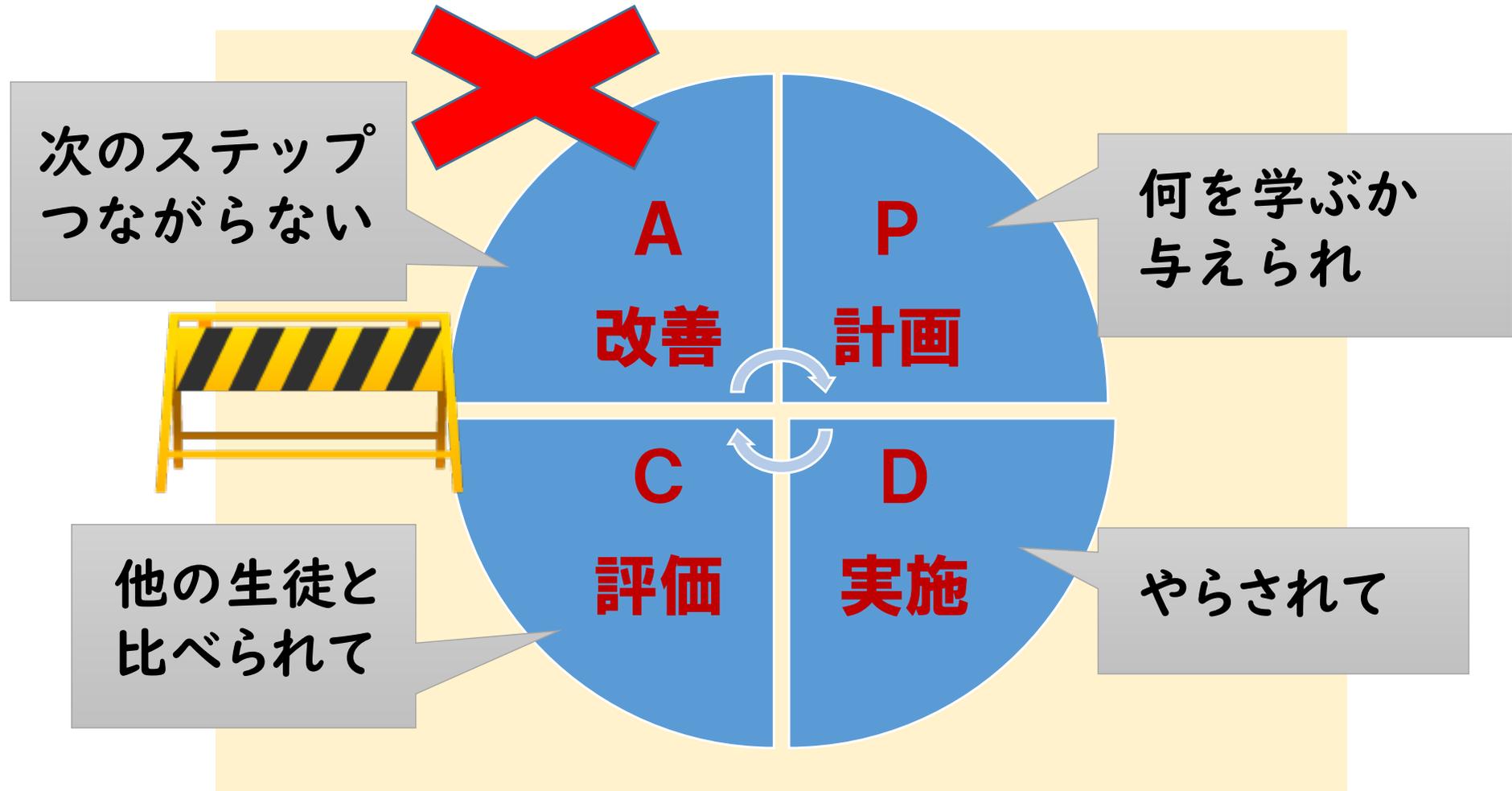
そうすれば
おまえは
もっと遠くへ
行ける

AI時代には教育も変わらなければならない

「誰もが認める既存の正答を誰よりも速く答える力」これがエリート力、しかしこれは全てAIが行なう

「これまで誰も出会ったことのない想定外の問題に立ち向かう力」これが創造力で未来創造で鍛える力。

受動的な学習のPDCAサイクル



主体的な学習のPDCAサイクル

